

ジョイント合宿感想

# 宇都宮大学国際学部行政学研究室

3年

氏家 祐太

今回のジョイントに関してまず言いたいことは、本当に大変でした。まちづくり提案の2日後にジョイント合宿という非常にハードなスケジュールだったため、準備する時間があまりありませんでしたが、なんとか仕上げようと夜遅くまで、みんなで話し合いました。今回ジョイントの共通テーマは、実質佐藤さんと佐々木さんにお任せしてしまったため、申し訳なく思っています。

準備は非常に大変でしたが、ジョイント合宿の間中は非常に充実していました。他大学の発表や先生方からの講評を聞いて、着眼点の面白さや現地調査の重要性などを再認識するとともに、問題点を掘り下げていくことの必要性を思い知らされました。この点は、今後卒論を書いていく際に注意していきたいことだと思います。また、打ち上げでは、ビンゴ大会や他大学の学生の活気に影響されて少し飲みすぎてしまいましたが、楽しい時間を過ごすことができました。今回の幹事校である早稲田大学の皆様には大変お世話になりました。ありがとうございました。

行きと帰りの車内では、日ごろあまり会話する機会のない中村先生とお話することができて楽しかったです。また、帰りの首都高では夕日をバックにしたスカイツリーを見ることができ、感動しました。中村先生、本当に運転お疲れ様でした。

最後に、一人部屋はやっぱりさびしかったかな、と思います。

佐々木 彩

10月1日になり本格的にゼミが始まると、私の1年ぶりの大学生活もジョイント合宿に向けあわただしいものになりました。共通発表はテーマがなかなか決まらず苦勞しました。話し合いを重ね、震災からの観光復興というテーマをなんとか決め、大洗に向かいました。大洗役場の方はとても親切に大洗町の風評被害の現状や対策を教えてくださいました。その後、本格的に大洗について研究しようということになり、2回目の大洗訪問に向け、質問項目をみんなで考え、また役場の方に漁協、観光施設の方々のアポイントメントをとっていただき準備万端で向かったため、2回目の大洗訪問は充実したものとなりました。共通発表に関しては大洗町の方々の協力が本当にありがたく、貴重なもので、レジェメ、パワーポイントにはお聞きしたことを存分に出せたと思います。

分科会発表は街づくり提案で発表したLRTについて海外事例を加え、発表しようとい

うことになりました。実際にアメリカで利用した乗り物を発表するというので、自信を持って語れたと思います。私は分科会のパワーポイントづくりを担当しましたが、30分間のパワーポイントの量が多くて本当に大変でした。宇都宮市の部分はほぼ氏家君が作ってくれた街づくり提案のものを真似させていただきましたが・・・。

実際の合宿は想像よりも楽しく過ごせたと思います。他大の皆さんは100人規模の共通発表の場でも積極的に意見交換を行っており、普段小規模のゼミで過ごしている私には新鮮でした。共通発表を終え、先生方から「大洗ばんざい」で終わっているというご指摘をいただきました。また、現地調査に偏りすぎているというご意見もありました。確かに私たちは現地調査の情報をもとに作成したため、文献を参考にしませんでした。文献をいくつか読み、基本知識をきちんともっていれば新たな問題を見出すことができ、より深い発表になったのではないかと思います。また、毎年恒例となりつつあった宇都宮大学は宇都宮のこしか取り上げないという指摘を改善することはできましたが、今度は宇都宮大学らしさがなくなってしまったとも言われました。後輩のみなさんにはバランスの良い発表づくりをおすすめします。

分科会発表ではメインは宇都宮市のLRT導入に関するのですが、海外の事例を取り上げたことでより興味を持っていただけたと思います。先生からは市と海外だけでなく国や県もからめたらよかったのではないかとアドバイスをいただきました。私たちも海外事例2つ紹介していきなり宇都宮市に入ることに正直違和感を感じていたのなるほど！と思いました。分科会の質疑応答は氏家君に頼りっきりでした。ありがとう！

今回のジョイント合宿では他大の皆さんとたくさん交流することができ、また中村ゼミもより絆を深めることができたと思います。先生、運転ありがとうございました。佐藤さん、幹事ありがとうございました。最後に、打ち上げのビンゴ大会でディズニールランドのチケットを当てられて、いろんな意味でたくさんのご褒美をいただいた合宿でした！

## 佐藤 佳奈

今年は3人という少ないゼミ生で共通テーマ・分科会ともに準備・発表しなければならない上に、留学帰り間もない状態で慌ただしく後期を迎えたため、準備期間がかなり短く、振り返ってみれば本当に大変だったなと感じています。

共通テーマについて、調査先の大洗には2回足を運びました。役場の方々はとても温かく迎えてくれ、関連する部署や宿泊施設の方々も快く紹介してくださって、多様な角度から大洗の現状を知ることができました。港周辺の地域も実際に訪れてみて、現地の様子を肌で感じることができました。フィールドワークといったもの自体初めての経験で、調査先との事前連絡や日程調整、現地までの移動、普段接することのない役所の方々との長時間にわたるインタビューなど、考えていたよりもかなり大変でしたが、実際の対面での話だからこそわかることがあり、たくさんリアルな情報を得ることができ、フィールドワ

ークの大切さを実感しました。分科会については主に海外事例について担当し、留学先や旅行先での実体験を活用することができ光栄でした。

タイトなスケジュールの中、ゼミメンバーと毎日協力して準備を進め、合宿でも 3 日間共に過ごすことで、メンバーとの信頼や仲が深まり、それがとても嬉しかったです。合宿では他大学のみなさんや教授たちの多様な鋭い質問や意見を聞くことができ、普段の小さいゼミ室では味わえないことが多く、とても刺激的でした。他大学の学生も、同じ行政学を学んでいるとはいえ、皆それぞれ個性豊かで、持っている感心もそれぞれ違い、交流も楽しかったです。とても充実した 3 日間でした。

今回得た経験は、今後のゼミでの研究にも生かしていきたいです。先生や先輩方、インタビュー先の方々、そしてゼミメンバーのみんな、たくさんの協力を得て無事合宿を終えることができ、とても感謝しています。貴重な経験をさせていただき、ありがとうございました。

## 修士 1 年

### 包 金

私は留学生として研究室のことで 2012 年 11 月 23 日のジョイントの発表会に参加した。ジョイントの発表会は千葉県にある中央学院大学館山セミナーハウスで開催して、共同テーマ「海・地域・政策」をとりして幹事校の早稲田大学以外宇都宮大学、拓殖大学、中央学院大学、法政大学、四日市大学参加して、全員 92 名になった。

今度のジョイントの発表会で参加者として参加したので「町づくり提案」の発表会よりそんなにプレッシャーがかからないままみんなの発表を聞いて、交流して、三日間たくさん勉強したので本当にうれしかった。発表会の内容分からなかった時佐藤さん、佐々木さん、氏家さんの三人が丁寧に説明してくれて役に立つになってありがたいと思う。私日本に来て、日本人の友達とそんなに長い時間で日本語をしゃべるのは初めてからいろいろなことを勉強した。ほかに、先生とみんなのおかげで初めて海に行き、富士山を見て、本当に楽しかった。海が広くて、青くて、海と空の間に富士山が見えてくるのが絶景でした。

いろいろな初めてのことをやって、たくさん知識を勉強して、失敗しても、楽しみになってもそれは生活の一部になってこれからもっと頑張りたい気持ちが強くなった。

## 担当教員

中村祐司

学生の知的成長は加速するージョイント合宿に参加してー

研究室として初めてジョイントに参加してからもう 17,18 回目になるのだろうか。それにしてもよく継続してきたものだ。この間、少なくとも 10 回ぐらいは館山セミナーハウスを使わせてもらっている。不思議なのはこのセミナーハウスが減価償却とはまるで無縁というのか、老朽化のかけらすら感じさせない、ぴかぴかの宿泊・研修施設であり続けていることだ。年々の疲労感や疲れを見せないこの施設の魅力は、学生との年齢の開きという意味で年々「老齢化」を意識せざるを得ない教員に、活力を与えてくれる存在である。

この間、道路事情についても京葉道から先の館山道の開発を実感する。当初は海岸沿いの道を、とくにトンネル内での対向車のトラックに冷や冷やししながらその道だけで 1 時間 30 分ぐらいかけて運転したものである。それが今や空いていれば宇都宮大学から 4 時間で到着するようになった。

一方の学生にとって、ジョイントは当該学年での参加という点では一生に一度の経験である。共通テーマにしても分科会にしてもいわば一回の真剣勝負の場である。こうした機会に正面から向き合えること自体が学生時代ならではの特権的価値であろう。

ゼミ生の多寡に関係なく、当該大学研究室の看板を背負って、とにかく最善を尽くす。100 人を超える 6 大学の学生・教員を前に、逃げずに真正面から重圧に向き合う。ぎりぎりまでレジメやプレゼンの中身を見直す。そのためにはチームワークの発揮が不可欠となるが、それを 3 人はやり遂げたといえる。顔つきはだけでなく、若者の知的成長の加速が見られるのがジョイントである。

今回は遂に共通テーマと分科会(内容前半)において、「ご当地研究」から外側に踏み出すこととなった。研究の射程が内外に広がる契機となった。これにテーマをめぐる建設的批判の精神が加われば、さらに知性の空間を広げることができるはずだ。

幹事校の手綱さばきは見事の一言に尽きた。開催会場校や他の参加大学、さらには最終日には素晴らしい海の世界を見せてくれた館山という地も含めてすべての関係者に感謝したい。